

- 1 審議会名 令和5年度 第2回安曇野市子ども・子育て会議
- 2 日 時 令和5年11月8日(木) 午前9時30分から午前11時30分まで
- 3 会 場 安曇野市役所本庁舎4階 大会議室
- 4 出席者 小宮山委員、丸山委員、宮澤委員、大澤(克)委員、松下委員、森岡委員、平沢委員、米倉委員、酒井委員、大澤(美)委員、赤沼委員、中島委員、牟禮委員、古屋委員、高田委員
- 5 市側出席者 矢口教育部長、臼井教育指導室長、宮下学校教育担当主査、市川健康支援担当係長、橋詰健康推進担当係長、佐々木こども園幼稚園課長、青嶋保育幼稚園係長、古畑子ども家庭支援課長補佐、高橋子ども発達支援相談室長、矢口子ども家庭相談担当係長、野村子育て給付係長、山越子ども家庭支援課長、赤羽子ども家庭支援課長補佐、林子ども子育て政策係主査
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 1人
- 8 会議概要作成年月日 令和5年11月20日

協 議 事 項 等

I 会議の概要

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事事項
 (1) 子ども・子育て支援事業計画概要及び令和5年度上半期進捗状況等について
 (2) 子ども・子育て支援計画策定のためのニーズ調査について
 (3) その他
- 4 閉 会
-

II 協議概要

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
 会長より開会のご挨拶をいただいた。
- 3 議事事項
 (1) 子ども・子育て支援事業計画概要及び令和5年度上半期進捗状況等について (資料1・2)
 資料1を使用して赤羽補佐より子ども子育て支援事業計画の概要の説明。
 資料2を使用して各事業の担当係長から令和5年度上半期の事業報告を行った。
- (2) 子ども・子育て支援計画策定のためのニーズ調査について (追加資料1・2、資料3・4)
 (赤羽補佐)
 令和6年度で第2次子ども・子育て支援事業計画が計画年度終了となることから、第3次子ども・子育て支援事業計画の策定を進めたい。計画策定にあたって方針を追加資料1、スケジュールを追加資料2のとおりとしたい。
- (会長)
 事務局からの提案のとおり追加資料1を第3次安曇野市子ども・子育て支援事業計画の策定方針とし、追加資料2のスケジュールに基づき事業を進めていくことを承認したいが疑義のある委員はいるか。
 反対意見はないようなので、事務局は本決定に基づいて事業を進めるように。
- (赤羽補佐)
 事業計画策定に関わるニーズ調査を実施したいが、資料3及び4をご確認いただきたい。資料4はニーズ調査の調査項目であり、資料3は資料4の見方やニーズ調査についての説明資料となっている。各資料については、子ども・子育て支援事業計画策定支援業務の委託業者である特定非営利活動法人 SCOP の鷲見理事長から説明を行う。
- 特定非営利活動法人 SCOP 鷲見理事長により資料3によりニーズ調査の概要を、資料4により調査項

目の解説を行った。以下、委員からの意見があった箇所とその内容及び回答を記述する。—

【資料3 調査の概要について】

(委員)

過去の回答率を教えて欲しい。

(事務局)

前回の調査では就学前児童が81.5%、就学児童は58.7%となっている。

(委員)

ぜひ、父親にも回答して頂くようなメッセージを入れて欲しい。また、日本人向けの調査であるが外国人向けにも何か聞くことが望ましい。

【資料4 通番2】

(委員)

今の時代として、男性と女性を聞く意味があるのか。

(SCOP)

児童の性別がわかったほうが保育・教育ニーズの違いが分かるため、性別まで尋ねている。

(委員)

小学校4年生になると性別に違和感を持つ子どもも出てくる。男女2択でよいのか。

(事務局)

男女の2択ではなく、それ以外の3択とする。

【通番7】

(委員)

片方の親しか回答しない恐れがある。両親の状況を把握することが必要ではないか。移住者と地元民でかなりニーズや考えが違う。移住者が多いため、しっかりバリエーションがわかるようにしてほしい。

(SCOP)

5番で誰が回答しているかは確認しているが、母親と父親の片方しか確認できないため、両親のそれぞれの移住の状況を確認したほうが確かに良い。

(事務局)

両親それぞれの移住の状況が分かるように修正する。

【通番11】

(委員)

貧困について尋ねたいことはわかるが、学歴まで聞くのは違和感がある。「答えたくない」という選択肢をつくってはどうか。

(SCOP)

学歴についての調査項目は国の貧困調査の標準項目に準拠している。日本の調査ではあまり学歴を尋ねないため、この設問のみ回答率が下がる恐れはある。抵抗感はあると思うが、子どもの習慣などの背景などがわかる可能性がある。「答えたくない」という選択肢をつくと、皆そちらを選択してしまう恐れがある。

(委員)

国の調査では、子どもの食生活、肥満と家計との関係などはデータで関係が示されている。必要な項目なので、回答したくない方は答えないということで対応すればよいのでは。

(委員)

WEB アンケートの場合、すべての項目に回答しないと次の回答に進めないのではないかと。

(SCOP)

WEB システムで「必須回答」の設定をつけられる。必須回答は回答忘れを防ぐために設定するが、回答したくない場合に飛ばせなくなってしまう。どちらを優先するか、難しいところ。

【通番 12】

(委員)

年収の選択肢の金額の幅が非常に細かい。ここまで細かい必要があるのか。

(SCOP)

前はここまで細かくなかったが、今回は国のレンジにあわせてため、細かい。これに沿うことで、国と同様の方法で相対的貧困率を算出することができる。

(事務局)

長野県・国と比較するときに、同じ選択肢にしたほうが比較しやすいため、このようにした。このままでお願いしたい。

【通番 16】

(委員)

通番 16 を削らないで残して欲しい。

(SCOP)。

通番 10 で類似する質問を聞いているため、重複と思われるので削除した。

(委員)

通番 16 の選択肢には、家族だけでなく、幼稚園・保育園などが入っている。身の回りのお世話を園がしているということも意外に多い。通番 16 はあっても良い。選択肢に、兄弟・姉妹も追加してはどうか。ヤングケアラーの問題もある。

(事務局)

通番 16 を削除せず、残すようにする。また、通番 10・16 に、兄弟・姉妹の選択肢を足す。

【通番 53】

(委員)

選択肢に④夜間療養等事業（トワイライトステイ）とあるが安曇野市にはあるのか。

(事務局)

確認したところ、実施がないため、削除する。

【通番 60】

(委員)

「キッズパーク」というのは安曇野市にもあるのか。

(事務局)

児童館の子育て支援事業で、0～2歳の親御さんが登録して月に1回利用するものとして存在している。

【通番 62・63】

(委員)

現在あるサービスについて利用経験や利用意向を尋ねているように見えるが、今はなくてもこれからこういうサービスが欲しいという意見を拾えるような項目が必要ではないか。

(SCOP)

自由記述という形であるが、114番で「子育て環境に対する課題と要望」を回答できる項目がある。

【通番 69】

(委員長)

保護者から家庭への働きかけについて尋ねているが、時代が変化した中で違和感のある選択肢もある。テレビゲームやインターネットはほぼ全員が持っている。新聞を読む習慣はすでに親自体からなくなっているなど。

(SCOP)

国の貧困調査と同様の項目として設定したものはあるが、実状にあわせて変更することは問題ない。

(委員)

保護者の家庭への働きかけについては、貧困について聞きたいなら、もっと基本的な生活のことを尋ねたらどうか。例えば、子どもが1人で食事しているかなど。

(SCOP)

家庭での基本的な習慣については、冒頭で尋ねている。親子の関わりという観点での質問となっている。

(委員)

関わりという意味では、親子の時間、子どもの悩みを聞いているか、食事中に話をしているかということなどを聞いたらいけないのではないか。保護者の方が孤立しているか、という観点もあるのか。

「PTA活動」が任意であることを認識されはじめており、退会者が増えている状況であるため、この設問だと参加しなければいけないというニュアンスを感じる人もでてくる恐れがあるため、「PTA活動」について記述を削ってほしい。

(事務局)

PTAの代わりに社会参加の選択肢を加えるかも含めてこの質問自体の必要性も含めて検討したい

(委員)

選択肢が就学前と小学生とで変えた方が良い。未就学児に新聞を読ませることもない。

(事務局)

再度、検討する。

【通番 73】

(委員)

学歴と貧困が本当に関係あるのか。聞くのは良いが関係性があるか私は疑問。

(事務局)

学歴と貧困の関係について、全体としての傾向を見たくて設問を入れている。県・国でも傾向を見ている。個別事例ではいろいろなケースがあると思う。

(委員)

「進学すると思いますか」ではなく、「進学させたいと思いますか」のほうが、適当ではないか。予測ではなく意思を確認したいため。小学校の段階で親の意思を聞きたいのか、子どもの意思を聞きたいのか。

(事務局)

親がどうさせたいか、親の希望を尋ねるものである。「進学させたいと思いますか」とする。

【その他】

(委員)

令和6年度から「こども誰でも通園制度」が始まるが、これに対して計画に反映するか。

(事務局)

その部分は一時預かり保育の部分に反映されるかと思う。令和6年度からの実施なので6年度の実績に上乘せする形で報告することになる。令和7年度以降の第3次計画には基準に基づき算出された利用の見込み数に令和6年度の実績ベースで加算し対応していく事になるかと思う。

(会長)

この他に意見等あれば、次第に記載にある担当者宛てに11月13日までにご連絡をお願いしたい。予定していた議題は終わったので進行を事務局へお返す。

4 閉会

【副会長】

長時間にわたり大変ご苦勞様でした。

以上をもちまして、令和5年度 第2回安曇野市子ども子育て会議を終了とする。